

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.85, June 2014

ARSC 事務局：〒164-0003 東京都新宿区矢来町 126

NITTO ビル (株)メッツ研究所内

応用地域学会事務局 文部科学省学会コード=10023

会長：中村良平 担当：宮本成雄

TEL: (03)5227-7804

FAX: (03)5227-7807

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 運営委員選挙の結果
運営幹事等役員の選任
第 28 回研究発表大会のご案内
2014 年度坂下賞候補者の推薦
2013 年度学会決算概要
2014 年度第 1 回運営委員会の概要
事務局だより

1. 運営委員選挙の結果

ARSC 選挙管理委員 高塚 創 横井渉央

2014-2015 年度 ARSC 運営委員選挙は、2014 年 3 月 14 日締め切りで実施されました。開票集計は、3 月 18 日選挙管理委員と事務局で開票されました。結果、以下の 20 名の方々が選出され、運営委員に就任されましたのでご報告いたします。

応用地域学会 2014～2015 年度運営委員

東地区(11名)

安藤朝夫（東北大学）、河野達仁（東北大学）、堤 盛人（筑波大学）、奥村 誠（東北大学）、高橋孝明（東京大学）、曾 道智（東北大学）、村田安寧（日本大学）、赤松 隆（東

北大学)、猪原龍介(亜細亜大学)、中島賢太郎(東北大学)、瀬古美喜(武蔵野大学)、
以上11名(敬称略、順不同)

西地区(9名)

塚井誠人(広島大学)、高塚 創(香川大学)、森 知也(京都大学)、佐藤泰裕(大阪大
学)、小川 光(名古屋大学)、内藤 徹(徳島大学)、多々納裕一(京都大学)、
亀山嘉大(佐賀大学)、小池淳司(神戸大学)、
以上9名(敬称略、順不同)

2. 運営幹事等役員の選任

事務局 宮本成雄

新しい運営委員のもと、運営委員会が5月31日、京都で開催され、以下のように2014
年度の運営幹事等の役員、委員会委員等が選任、又は任命されました。(太字名が今回の
新任、敬称略・順不同)

○運営幹事(規程無)

・運営委員会内で選任(運営委員会を機能的に運営するために設置。)

<2014・2015>

総務 塚井 誠人(広島大学)
渉外 河野 達仁(東北大学)
会計 瀬古 美喜(武蔵野大学)

○監査委員(会則第9条3項)

・運営委員会が、個人会員の中から委嘱する(2名)。任期の規程無。

<2013・2014>

松島 格也(京都大学)、内藤 徹(徳島大学)

○選挙管理委員(選挙内規第3条)

・会長が、指名する(2名)。任期の規程無。

<2013・2014>

高塚 創(香川大学)、横井 渉央(東北大学)

○大会プログラム委員会(規程無)

・運営委員会で選任・委員長指名(開催大学・委員長の意向により委員の増減あり)

<2014年度(主催琉球大学)>

委員長 森 知也(京都大学)
委員 浜口 伸明(神戸大学) 大城 淳(沖縄大学)
岩田 真一郎(富山大学)、中島 賢太郎(東北大学)
矢澤 則彦(東京国際大学)、豊田 哲也(徳島大学)

○坂下賞選考委員会（2004 年度～）

<坂下賞選考規程>

[選考委員会]

第5条：運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。委員長は、5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。

[選考委員の任期]

第6条：運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

<2014 年度坂下賞選考委員会委員>

委員長 小林 潔司（京都大学 3年目）
委員 浜口 伸明（神戸大学 2年目）
委員 曾 道智（東北大学 1年目）
委員 中村 良平（ARSC 会長）
委員 文 世一（ARSC 副会長）

○応用地域学会論文賞（Best Paper Award of ARSC）選考委員会

<論文賞選考規定>

[選考委員会]

第5条：運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。委員長は5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。

[選考委員の任期]

第6条：運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

（*任期に関する申し合わせ事項；2014～16の間は、2013 年度選任の3名のうち1名が順次退任し、運営委員会が選任した1名を就任する。）

<2014 年度選考委員会>

（○数字は、申し合わせに基づく退任の順序）

委員長 大澤 義明（筑波大学）①
委員 奥村 誠（東北大学）②
委員 堤 盛人（筑波大学）③
委員 中村 良平（ARSC 会長）
委員 文 世一（ARSC 副会長）

3. 第 28 回研究発表大会のご案内

第 28 回研究発表大会実行委員長 岩橋培樹

2014 年度大会は、琉球大学の主催で沖縄産業支援センター(沖縄県那覇市)において、下記要領で開催いたします。意欲的な論文の発表と活発な討論を期待しております。

また、沖縄の地域振興をめぐって、地元オピニオンリーダー等を交えたパネルディスカッションも企画しております。奮っての参加をお願い致したく、ご案内申し上げます。

(1) 大会概要

- ①期 日 2014 年 11 月 29 日 (土)、30 日 (日)
(総会・懇親会は 11 月 29 日(土))
- ②会 場 沖縄産業支援センター (〒901-0152 沖縄県那覇市小禄 1831-1)
<<http://www.okinawa-sangvoushien.co.jp/>>
- ③参加費 正会員・非会員は 2000 円、学生会員は無料

*大会の詳細につきましては、大会ホームページ(7月上旬より公開予定)をご参照ください。

<<https://sites.google.com/site/arsc2014naha/>>

(2) 発表申込

- ①発表者の条件 **ARSC 会員であること**
※非会員の場合は大会までに入会手続きを行ってください。

②下記についてご記入の上、お申し込み下さい。

添付の「発表申込用紙」をご使用ください。

(大会ホームページからもダウンロードできるようにします。)

- a. 発表者氏名・所属
- b. 連名者氏名・所属
- c. 発表者連絡先 住所、電話、ファックス、E-mail アドレス
- d. 発表題目 (和・英のいずれか)
- e. 要旨 (和文 200 字、英文 100 語程度。いずれかを記載)
- f. 発表時の使用言語 (日本語または英語)
- g. 希望討論者 (候補者 2 名まで)

※候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

- h. 発表区分 (「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項(3)を参照)

③申込方法 申込用紙はできるだけ E-mail に添付してお送り下さい。

(4) 今後の予定

①大会プログラム

- ・10月20日頃までに確定し、大会ホームページとニュースレターを通じてお知らせいたします。

②発表原稿

- ・最終の発表原稿を11月15日(土)までに座長、討論者、大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

E-mail に添付して送られる場合は、必ず PDF 形式にしてください。

大会事務局宛てのメールの件名は「**arsc 論文(名前)**」として下さい。

論文のファイル名は半角アルファベットで「**paper(name)**」として下さい。

(例 paper(roki iwahashi)など)

座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

- ・大会事務局に論文を PDF で送付していただければ、大会 HP に報告論文をアップロードします。(アップロードの期間は本年中とします。) アップロードを希望しない場合は、メールにその旨を明記してください。
- ・発表会場には、論文またはそれに準ずるもののコピーを30部程度用意してください。
- ・発表会場には Windows のパソコンと Office Professional 2010 を準備する予定です。また PDF も利用可能です。

(5) 2013年大会実行組織

(敬称略)

大会実行委員会	委員長 岩橋 培樹 琉球大学 委員 大城 淳 沖縄大学 委員 伊藤 匡 アジア経済研究所
プログラム委員会	委員長 森 知也 京都大学 委員 浜口 伸明 神戸大学 委員 大城 淳 沖縄大学 委員 岩田真一郎 富山大学 委員 中島賢太郎 東北大学 委員 矢澤 則彦 東京国際大学 委員 豊田 哲也 徳島大学
大会事務局・ お問い合わせ	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学法文学部 岩橋研究室 電話/Fax 098-895-8324 E-mail arsc2014naha@gmail.com

4. 2014 年度坂下賞候補者の推薦について（候補者を公募します）

坂下賞選考委員会委員長 小林潔司(京都大学)

応用地域学会では、日本における地域科学の研究を発展させ、当学会を地域科学研究の世界的拠点にする視点に立ち、若い研究者を奨励することを目的として、毎年1名の方に『坂下賞』を授与しております。

対象者は、応用地域学会の会員かつ2014年12月31日に満40歳以下の方で、地域科学の理論的研究、実証的研究及び政策的研究のいずれか（あるいは複数の領域）で大きな貢献をなし、現在もなお継続的に研究活動を行っていることが条件となります。

2011 年度から一般会員からの推薦も含めて選考することとなりましたので、奮ってご推薦下さい。

<募集要領>

推薦資格：応用地域学会員であること

推薦者数：原則として被推薦者（候補者）1名につき、推薦者1名（自薦も可）

応募書類：推薦書（A4一枚：推薦書様式参照）および業績リスト（様式は任意）

締切：2014年9月30日(火)17時

（必着：メールの場合は受け取りを確認すること）

宛先：下記までPDFあるいはWORDのファイルをメールに添付して送付。
あるいは郵送のこと。

〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科

中村 良平 宛

e-mail:ubbz0252@cc.okayama-u.ac.jp

なお、推薦された候補者は、坂下賞選考委員会で、委員会推薦の候補者と併せて審議され、受賞者が決定されます。受賞者は、応用地域学会総会(2014年11月29日、於那覇市沖縄産業支援センター)で、発表・表彰いたします。

2014 年度坂下賞選考委員会

委員長 小林潔司 (京都大学)

委員 浜口伸明 (神戸大学)

曾 道智 (東北大学)

中村良平 (ARSC 会長)

文 世一 (ARSC 副会長)

5. 第4回アジア地域科学セミナー

事務局 宮本成雄

アジア地域科学セミナーは、ご案内の通り、アジア諸国における地域科学の研究発展と交流を促進するために、応用地域学会（ARSC）、台湾地域学会（CRSA）、中国地域学会（RSAC）、韓国地域学会（KRSA）が共催して行っております。

第4回アジア地域科学セミナーは、韓国地域学会の主催で、2014年8月5日～7日、韓国のソウル大学（Seoul National University－韓国ソウル市）で開催されます。参加申し込みは、既に締め切られておりますが、日本（ARSC）からは、20本の論文発表と30名の参加が予定されています。

（アジア地域科学セミナーは、上記4カ国学会の共催ですが、第2回より、各国持ち回り開催となり、第2回は日本（ARSC）、第3回は、台湾（CRSA）が、開催担当（主催）となりました。）

参考；第4回アジア地域科学セミナーWebsite

< <http://www.kr83.or.kr/asrs> >

6. 2013年度決算(概要)について

事務局 宮本成雄

2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)学会決算(案)概要を以下のようにご報告します。2013年度は、皆様の大変なご協力を頂き、近年になく会費収入が多くなっています。また、京都大会では、会員の皆様にも参加費を頂くようにしましたが、RURDSに対する助成金が無くなったこともあり、繰越金を50万円減らす結果となっております。今後、監査委員による監査を経て、本年度総会にて会員の皆様に最終報告する予定です。なお監査委員は、昨年に引き続き、松島格也（京都大学）及び内藤徹（徳島大学）の両先生にお願いすることになります。（詳細の報告は、監査終了後、総会承認後のニューズレターに掲載します。）

2013年度決算(案)概要

(単位：万円)

収 入		支 出	
繰越金	558	RURDS購読	354
会費(国内、国際、賛助)	532	「応用地域学研究」刊行	58
大会参加費等(年次大会)	88	大会開催費(年次大会、)	132
その他(学会誌販売等)	9	国際会費	32
		事務費、その他	103
収入合計	1187	支出合計	679
(繰越金を除く収入計)	(629)	繰越金	508

7. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集

「応用地域学研究」編集委員長：大澤 義明（筑波大学）

現在、「応用地域学研究」編集委員会では論文投稿を随時受け付けています。投稿論文は編集委員会の指名する複数の査読者により査読が行われます。雑誌は年2回の刊行を心がけており、雑誌刊行の予定に合わせて、1月20日と7月20日の締め切り日を設けております(<http://www.arsc.org/>を参照ください)。奮ってのご投稿をお待ちしております。特に、若い研究者によるご投稿、地域課題に関する問題解決型論文、震災復興など適時性に優れた論文のご投稿をお待ちしております。

1. 論文投稿希望の方は、論文はできるだけ word 形式のファイルを電子メールの添付ファイルでお送り下さい。**宛先は、編集委員長です (e-mail; osawa@sk.tsukuba.ac.jp)**。LaTeX で作成された原稿で pdf ファイルでも結構ですが、印刷時の編集の都合で最終原稿は word でお願いすることがあります。

2. 受付の確認を電子メールで送付いたしますので、投稿後一ヶ月を過ぎても連絡が無い場合は、下記までお問い合わせ下さい。

3. 掲載論文の著作権は学会に帰属します。また、応用地域学研究発行1ヶ月後に掲載論文を学会HPにて公開します。

応用地域学研究編集委員長

大澤 義明

筑波大学システム情報系社会工学域

TEL& FAX 029(853)5224

E-Mail osawa@sk.tsukuba.ac.jp

8. 2014 年度第 1 回運営委員会報告（概要）

事務局担当

2014 年度第 1 回運営委員会が 5 月 31 日(土)に行われました。議事録等の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

2014 年度 ARSC 第 1 回運営委員会議事録要旨

日 時；平成 26 年 5 月 31 日（土）14：30 ～ 16：30

場 所；ベーコンラボ京都駅前 3F 会議室

出 席；12 名、委任状 10 名

1. 運営委員選挙結果報告 (前掲)
2. 運営幹事等役員の選任(2014年度選任) (前掲)
 - *2014年度に新規選任となる、運営幹事、研究発表大会プログラム委員会(委員長・委員)、坂下賞選考委員会(委員長・委員)、応用地域学会論文賞選考委員会(委員長・委員)の各委員の選任とその承認がなされた。
3. 2013年度会計概要 (前掲)
 - *2013年度決算概要、京都大会収支決算についての報告があり、承認された。決算書については、監査委員による監査後、総会に諮る。
 - *2013年度は会費収入の増加はあったものの、RURDSに対する助成金が無くなったことや賛助会員の退会などから、今後の収支決算は、厳しい状況に陥ると予想される。このため、今年度においても、
 - ・賛助会員へのサービス強化や賛助会員確保を具体的に検討し、進める。(応用地域学研究等での、賛助会員の調査研究成果の発表の場を作るなど)
 - ・今年度研究発表大会においても、会員の参加費を徴収する。
4. 2014年度坂下賞の選考について (前掲)
 - *昨年度同様に、受賞候補者の自薦他薦を含めた推薦を公募する。
5. 2014年度研究発表大会(沖縄)の開催について(前掲)
 - *11月29,30日、沖縄産業支援センター(那覇市)で開催する。(当初予定の沖縄自治会館から、費用面で変更した旨の報告)
(大会実行委員長は、琉球大学岩橋培樹先生)
 - *地元有識者を交えたパネルディスカッションを開催する。
6. 2014年度 第4回アジア地域科学セミナーの開催について(前掲)
 - *韓国ソウル大学で行われる第4回アジア地域科学セミナーへは、ARSCから21本の論文発表の申し込みがあり、参加予定者は31名となっていることが報告された。(その後、1件の発表論文の取り止めがあり、発表20、参加30人となっている。)
7. ジャーナルの編集状況及び今後の方針について
 - ①応用地域学研究
編集委員長の大澤先生(筑波大学)から以下の報告がなされた。
 - *No.18は、現在編集中で、8月の刊行を目途に進めている。
 - *年間6本ぐらいの投稿があるが、現実には、査読期間が長い、査読が厳しいなどといったことがあり、刊行までの時間がかかりすぎている。
 - *「応用地域学研究」のあり方、投稿についていくつかの意見がだされました。
 - ・査読無し論文の掲載などもある。ただし、あくまでも従来からの「論文誌」としての体裁を保つべき。
 - ・大会での論文発表者への投稿を促す。座長に推薦を依頼する。

- ・査読者の幅を広げたりして、査読を緩やかにする。
- ・その他、今後のあり方について意見交換がなされた。

②RURDS

編集委員長の黒田先生(名古屋大学)からの以下の報告(メモ)が紹介された。

- *2013年はRURDSの年3回の発行ができ、2014年も3月に続き、7月には、2巻目が刊行の予定。
- *販売数はほぼ横ばい、アクセス数は改善傾向。
- *特集号の企画が動いていない。会員の中に特集号の企画があれば、RURDSのEditorsに相談してほしい。
- *Wiley社の厚意によるRURDS論文賞は2012年度より年1件に与えられることとなった。毎年3月号で発表する。

以上

9. 事務局だより

事務局担当

□ARSC会員現勢

2014年6月20日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 483名(内、一般会員 428名、学生会員 49名、海外会員 6名)
賛助会員 6団体(総口数8口)。

□事務局からのお願いです。

会員の皆様の登録情報は、メール連絡やジャーナル等の送付に重要な情報となっています。変更があった場合は、会員ページ (<https://service.kktcs.co.jp/smms2/loginmember/arsc>) にログインし、速やかに登録情報の変更をお願いいたします。

また、会費振り込みの際、通信欄の記入には、勤務先や住所変更等があった場合は、必ずその旨を明記しておいてください。

□地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。新規会員の入会申込はARSCのホームページ(<http://www.arsc.org/>)の「入会手続き」より行ってください。入会に関するお問い合わせは、ARSC事務局にメール (clerk@arsc.org) にて、お願いいたします。

□事務局やニューズレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、お知らせいただきたいと思っております。

□ホームページ、メーリングリストへの問い合わせは下記にお願いします。

- ◆ホームページの更新等に関する情報提供・問い合わせ；ohashi@cc.hirosaki-u.ac.jp (大橋)
- ◆メーリングリストに関する変更・問い合わせ；clerk@arsc.org (宮本)